

○トラックの前に人だかり

○話す伊藤さん

そんな夏休みのある日。

伊藤さん「雨がポタポタ降るかもしれないけど、ま

あ乗り越えて今日一日やれたらいいなと

思っています。」

○集まった学生

東京の専修大学の学生の皆さんが、

フットパスの整備を手伝うために、

やって来ました。

○走るトラック

○作業前に話し合う様子

伊藤さん「これ全長なんぼになるの？」

学生「えー、なんぼですかね？」

早くもトラブル発生ですか？

この状態で大丈夫？

伊藤さん「4800！じゃあまず工具箱からメジャー持

ってきてみんなで確認する？」

○作業開始

でもひとたび作業が始まれば、そこは行動力がある若者たち、次々に作業をこなしていきます。

○作業風景

ハービーモビリティ  
A-B-MOBIのメンバーと協力しあいながら、普段東京ではあまり体験しない力仕事に、汗を流します。

○作業完成

小笠原さん「はい、完成！」

○専修大学経済学部准教授

泉 留維インタビュー

泉さん「自然と人間の関係って、やっぱり現地に行ってみないとわからないですから、ゼミ生

○学生インタビュー

は、東京で理論的なことを勉強して、合宿では、自然体験を通して学習していく、そういうのを併せて、自然と人間の関係を考えていきたいなと思ったので根室のフットパスにきています。」

学生「自分たちが作ったものが、他の人の手助けになるというのが、実感は出来ないですけど、気持ち、手伝えているのかな〜と思えることが楽しくもあり、嬉しい感じですかね」  
学生「もし子供ができたら連れてきたいと思ってましたね。」

学生の皆さんにも、北海道の大地の魅力が伝わったようです。

○記念写真を取る小笠原さん

○黒味へフェードアウト